

スポーツ施設管理論		講義	講師 菅谷 美沙都	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの選択必修科目 救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11310202 13220207	

1. 授業のねらい・概要

スポーツ施設の管理運営における基本と実践について理解する。

人々のスポーツ実践の主たる場は、運動・スポーツ施設であり、様々なスポーツ施設は人々のスポーツ活動の質と量を規定する性質を有する。本講義では、運動・スポーツ施設の基本的機能を理解し、スポーツ施設の効率的な管理運営、すなわちスポーツファシリティマネジメントの基礎理論を学ぶ。さらに、我が国におけるスポーツ施設の管理運営事例を取り上げ、スポーツ施設整備の在り方や管理運営の手法について理解を深める。

なお、「スポーツ産業論」を受講していることが望ましい。

2. 授業の進め方

隔回授業最後にリアクションペーパーを提出し、授業内容の理解度を確認する。適宜、スポーツ施設関連の新聞記事や資料を配布する。

3. 授業計画

1. オリエンテーション（授業の進め方、成績と評価について等）	9. クラブライセンス制度とスポーツ施設の問題
2. 我が国のファシリティマネジメントの現状	10. スポーツ施設管理運営における人的資源と危機管理
3. スポーツ施設の基本的な分類と体系	11. スタジアム・アリーナビジネスの手法
4. エリアサービス事業とは（ファシリティマネジメントの基礎知識）	12. スポーツ施設における指定管理者制度
5. スポーツ施設産業とスポーツ施設の運営	13. スポーツ施設におけるネーミングライツ
6. スポーツファシリティとサービス	14. スポーツ施設のバリアフリー化
7. 日本のスタジアム分析	15. まとめ
8. 生活圏のスポーツ施設	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義内容を確認し、疑問点を明確にしておくこと。また、次回の講義内容に関する時事問題（新聞記事などを事前に配布することもある）を自ら調べること。これらの自主学修には2時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート提出の直後、記述内容のポイントや評価の基準に関する説明を行う。リアクションペーパーについては、記述内容のポイントや評価の基準に関する説明を次週の授業内で行う。

6. 授業における学修の到達目標

- ・スポーツ施設運営の基本を理解し、各施設の特徴や経営手法の違いを理解できる。
- ・我が国のスポーツ施設の現状や課題を検討し、より良いスポーツ施設のあり方についてファシリティマネジメントの視点から考究することができる。
- ・自分が普段利用（観戦含む）しているスポーツ施設の管理や運営について、授業で学んだ知識をもって分析できる態度を養う。

7. 成績評価の方法・基準

授業時におけるリアクションペーパー（50%）、最終レポート（40%）及び授業への取り組み方（10%）から総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

教科書は特に指定しない。適宜、資料・プリントを配布する。

参考文献：原田宗彦・間野義之 編著「スポーツファシリティマネジメント」（大修館書店，2011）

原田宗彦 編著「スポーツ産業論第7版」（杏林書院，2021）

9. 受講上の留意事項

特になし。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、スポーツ施設管理運営組織における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。